

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2020/01/08 ～2020/01/31)

1. 勉学の状況

担当していただいている教授から丁寧なご指導をいただき、千葉大学では得られなかった知見や解析の方法を現在試行中です。教授がとにかく細やかでレスポンスも早く、とても頼りになります。千葉大学の研究室によるゼミでは厳しいご指摘が多かったのですが、ジェレミー教授によれば正当なデータとして解析を行うことができる上に、むしろ着目している点やサンプルについてとても良い実験系を組むことができるはずだ、といったご提案を受けました。その実験系を確立するために膨大なデータを解析処理し、見直すという作業を現在行っております。担当していただいている教授から具体的なアドバイスを頂ける上に期限も設けていただけました。その期限を迎えたらもう一度再確認のディスカッションを行う、という形で現在とても研究が捗っています。よって学習面・研究面においてもとても充実しております。

2. 生活の状況

渡航当初はすべての環境に不慣れだったので、緊張や不安がとても大きかったことを覚えております。今現在、1か月ほどを過ごしてみて環境にも慣れてきました。当初抱いていた不安もなくなり、精神的にもとても安定しています。現在大学内の寮で生活しております。その寮もさまざまな交流イベントやサポート・フォローアップを行ってくれるので、とても頼りになります。またフロアごとに団結して参加するイベントなどもありますので、フロアのメンバーとも自然と仲良くなりました。大学自体も国際交流イベントなどさまざまな企画を用意してくれるので、たくさんの人と交流できています。食事についてですが、大学内の寮のメインの学食がとても便利です。buffet形式の多様でおいしいメニューを陳列してくれるため、飽きがこず野菜や肉や炭水化物をしっかり摂れます。むしろ日本にいたときの方が栄養面で偏っていたのではないかと思うほどです。またフルタイム学生であれば大学内に併設されているジムを無料で利用することができるので、有効に活用しています。研究室にこもっていると何かと運動不足になりがちですが、ジムのプログラムに定期的に通うことで適度に身体を動かすことができます。したがって日本にいたときよりも体力・気力・筋肉がつき、元気に過ごせているように感じます。また大学では主に研究室で過ごしているため、研究室のメンバーとはかなり親密になることができました。そのため、精神的にも充実しつつ健康的な生活を送れています。